

# 下田総合庁舎 定例記者懇談会資料

令和5年2月24日

## 賀茂地域局

次回の定例記者懇談会  
令和5年3月24日（金）  
午前9時30分から  
会場：賀茂キャンパス

# 目 次

## ◎重要施策発表

- マーガレットの育種による地域・生産振興～栽培の歴史と最新品種～・・・1  
(伊豆農業研究センター)

## ◎2月の行事予定

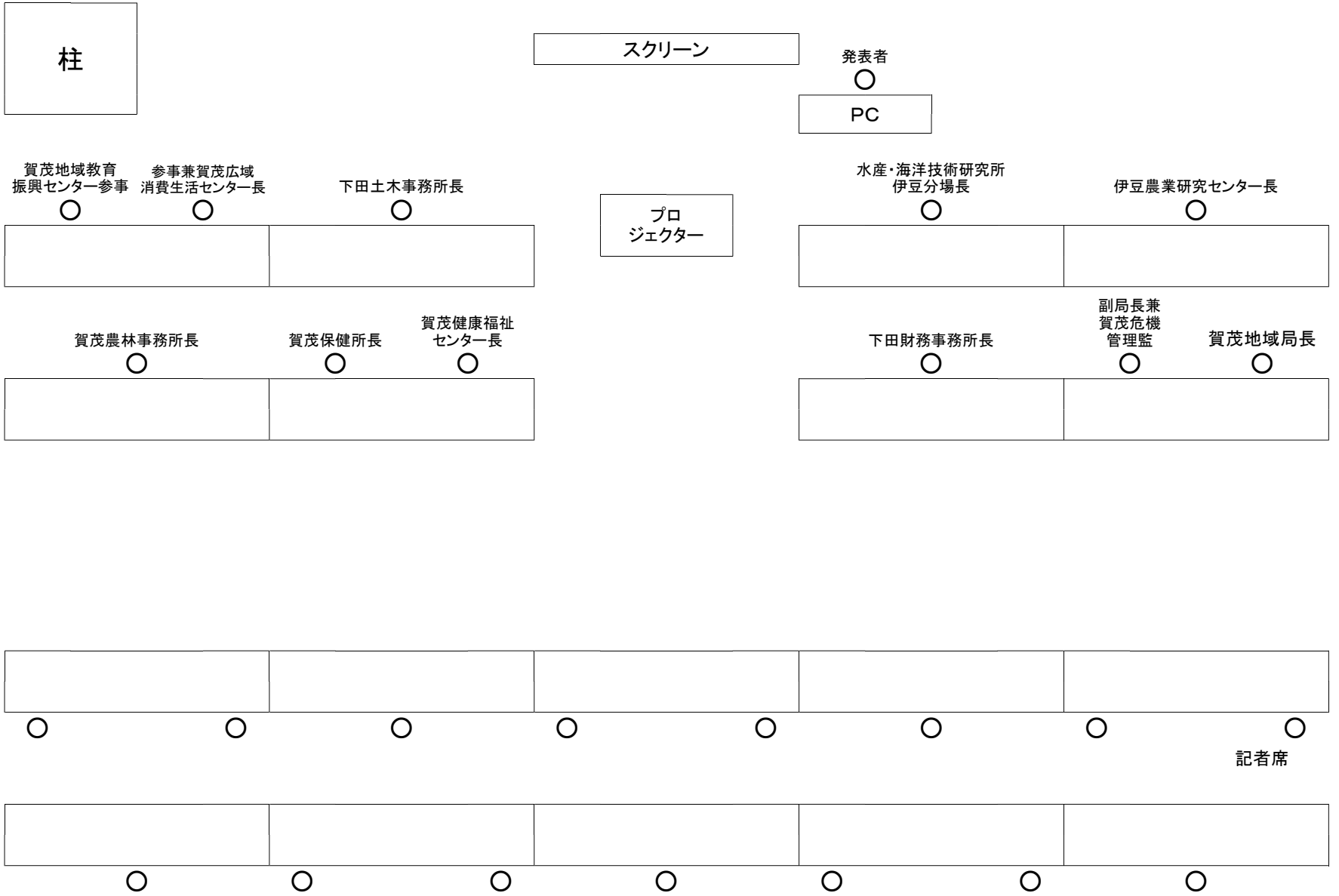
- 行事予定表・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 15  
賀茂キャンパス活用プログラム「静岡県立大学 社会人講座」第25回講座・ 17  
(賀茂地域局地域課)  
防災講座の開催・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 19  
(賀茂地域局危機管理課)  
令和4年度 津波避難訓練・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 20  
(賀茂地域局危機管理課)  
賀茂健康福祉センター広報誌「賀茂通信(第70号)」の発行について・・・ 21  
(賀茂健康福祉センター)  
松崎町雲見の災害復旧治山工事に着手しました・・・・・・・・・・・・・・ 22  
(賀茂農林事務所)  
東京2020オリンピック・パラリンピックのレガシー材を利用した  
「ブックラック」「ロングチェア」の贈呈式を開催します・・・・・・・・・・ 26  
(賀茂農林事務所)  
下田港外ヶ岡物揚場の完成記念式典を開催します・・・・・・・・・・・・・・ 27  
(下田土木事務所)  
静岡県宅地造成工事規制区域監視員の委嘱式開催について・・・・・・・・・・ 29  
(下田土木事務所)  
消費生活出前講座の募集・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 31  
(賀茂広域消費生活センター)  
高校生消費者教育出前講座の実施・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 32  
(賀茂広域消費生活センター)

## 名簿

	役職名	氏 名
1	賀茂地域局長	やまね まさつぐ 山根 正嗣
2	賀茂地域局副局長兼賀茂危機管理監	ぬまの かつし 沼野 克史
3	下田財務事務所長	はらだ なおあき 原田 直彰
4	賀茂健康福祉センター所長	たなか ひさし 田中 尚
5	賀茂健康福祉センター医監兼賀茂保健所長	ほんま よしゆき 本間 善之
6	賀茂農林事務所長	やぶざき たけひこ 藪崎 武彦
7	農林技術研究所伊豆農業研究センター長	たねいし もとひろ 種石 始弘
8	水産・海洋技術研究所伊豆分場長	すずき もとお 鈴木 基生
9	下田土木事務所長	とつか ひろふみ 戸塚 博文
10	賀茂広域消費生活センター所長	まつなが としの 松永 俊乃
11	賀茂地域教育振興センター参事	つちや かずみ 土屋 一巳
12	賀茂地域局次長兼地域課長	あおき かつひろ 青木 克裕
13	賀茂地域局参事兼危機管理課長	すずき かなめ 鈴木 要

# 賀茂地域定例記者懇談会 座席表

(下田総合庁舎別館 2階 賀茂キャンパス)



○  
次長兼  
地域課長

○  
参事兼  
危機管理課長

出入口

記者席

# マーガレットの育種による地域・生産振興 ～栽培の歴史と最新品種～



マーガレット  
'レディブレア'



ローダンセマムとの属間雑種  
'ベジューマム ローズクォーツ'



ローマンカモミールとの属間雑種  
「伊豆49号」

伊豆農業研究センター

伊豆農業研究センターで取組んでいる、マーガレットの品種改良について紹介する。

## マーガレット



育成品種「サワーリップル」

- 植物分類  
キク科アルギランセマム属
- 用途  
切り花、鉢物・花壇苗
- 開花時期  
(主に) 2月から5月

2

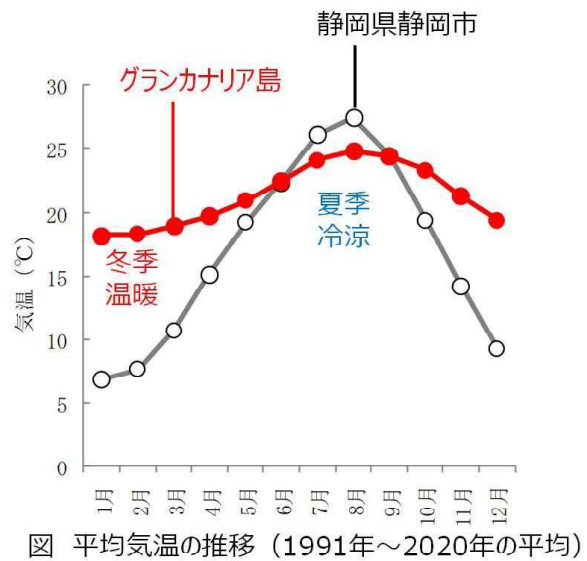
マーガレットはキク科の宿根草で、日本では主に切り花や、鉢物・花壇苗として流通。

開花時期は主に春で、多くの人が一度は名前を聞いたことがある、なじみの深い植物の一つ。

# マーガレット

## ・原産地

カナリア諸島、マデイラ諸島



島の気候に合わせて進化 → 寒さ (霜)、暑さに弱い

3

マーガレットの原産地は、アフリカの西、大西洋上のカナリア諸島やマデイラ諸島。

冬暖かく、夏涼しい環境で進化したため、日本の寒さや、暑さに弱い性質をもつ。

## マーガレット栽培の歴史

1870年代～

日本伝来

1930年代～

南伊豆町伊浜地区で露地での切り花栽培に成功  
南伊豆周辺の「無霜地帯」を中心に生産拡大

1990年代～

全国で鉢物生産が本格化

2000年代～

静岡県内の鉢物産地の流通網が整備  
沼津市、三島市、伊豆の国市等の県東部地域や  
伊豆地域で鉢物用マーガレットの産地が形成

マーガレットが日本に伝来したのは、1870年頃とされる。

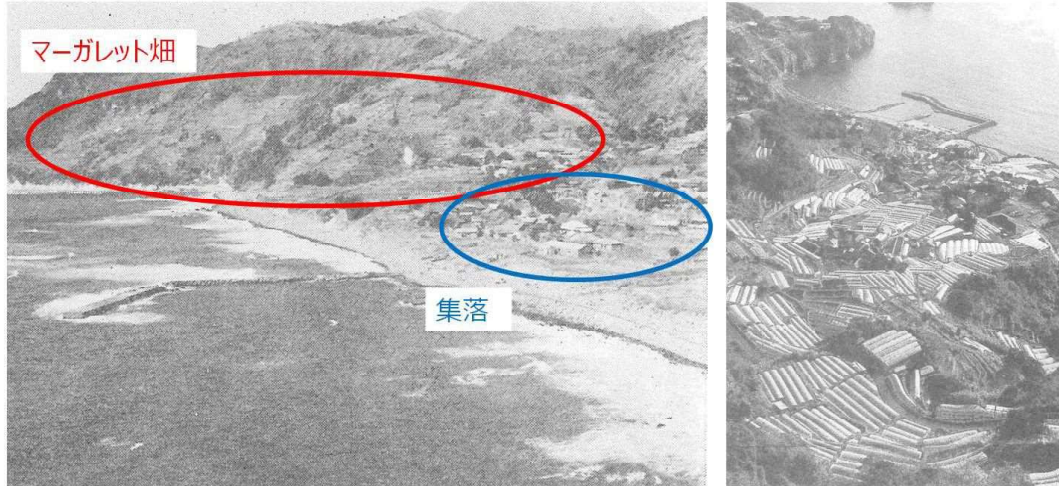
霜に弱いことから、道入当初は栽培が広がらなかったが、1930年代に、温暖で霜の降りない南伊豆町伊浜地区で、露地栽培ができることがわかると、付近一帯で栽培が本格化した。



## マーガレットの切り花栽培

1930年代～

南伊豆町伊浜地区で露地での切り花栽培に成功  
南伊豆周辺の「無霜地帯」を中心に生産拡大



南伊豆町伊浜（1954年）  
「わが国におけるマーガレット露地栽培地の地理学的研究」より

南伊豆町伊浜地区の風景  
（1994年）

1954年の伊浜地区の写真では、斜面を開墾して作られたマーガレット畑が広がっている。

他地域では栽培できないマーガレットは、高値で取引され、「半農半漁」の暮らしには欠かせない、冬～春の貴重な換金植物として定着し、日本一の産地となった。

1960年代になると、露地からビニールハウスでの栽培へと移行し、出荷量が増加した。

最盛期には、この写真のビニールハウスのほとんどで、マーガレットが栽培されていた。

## マーガレットの切り花栽培



ハウス内で切り花用マーガレット  
(2022年、南伊豆町)

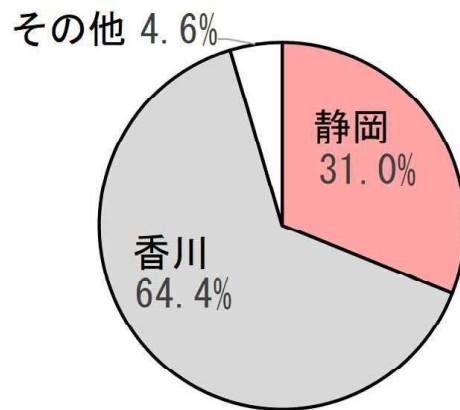


図 京浜市場におけるシェア\*(2020年)

\* 東京都中央卸売市場市場統計情報から作成、数量ベース

- ・全国 2 位の産地(2020年現在)
- ・最盛期(1994年)から  
出荷量 1/20に(推定)

現在も、静岡県で栽培される切り花マーガレットのほとんどが南伊豆町産（全国シェアも30%ほど）。人口減少、高齢化による栽培面積の減少が著しく、最盛期と比較すると出荷量は1/20程度まで低下。

# マーガレットの鉢物栽培

2000年代～

沼津市、三島市、伊豆の国市等の県東部地域や伊豆地域で鉢物用マーガレットの産地が形成



鉢物栽培の様子（2020年、三島市）

表 東部地域で栽培される鉢物・花壇苗（R2）

順位	品目	出荷数 (千鉢)	シェア (%)
1	マーガレット	295	25.0%
2	ヒマワリ	72	6.1%
3	プリムラ	57	4.8%
4	キャッツテール	51	4.3%
5	ビオラ	50	4.3%
6	パンジー	49	4.1%
7	ラベンダー	41	3.5%
8	ペチュニア	34	2.9%
9	パルマスマレ	31	2.6%
10	キキョウ	29	2.4%

県東部地域の鉢物・花壇苗  
出荷量の25%を占める品目に

2000年代に入ると、伊豆地域や県東部地域で鉢物マーガレットの産地化が進んだ。

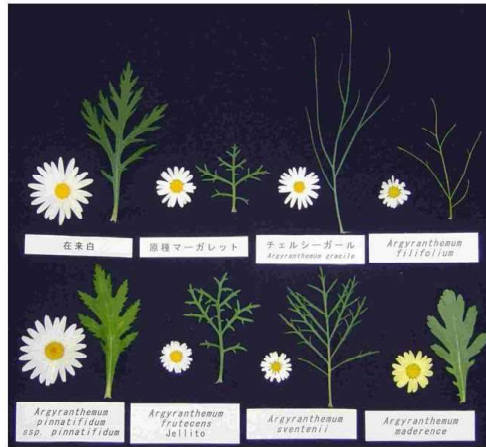
きっかけは、1990年代の園芸ブームで、全国的に鉢物栽培が増加する中、切り花のマーガレットに着目した鉢物生産者が栽培を始めたこと。

この地域は、全国でも有数の鉢物・花壇苗の産地に発展し、300にも及ぶ多様な品目のうち、鉢物マーガレットは出荷量の25%を占める品目として定着している。

# これまでのマーガレットの育種

## 当初の課題

- ・ 開花時期が主に春  
→ ①早生品種の開発
- ・ 花色や花型の  
バリエーションが少ない  
→ ②花色、花型の多様化  
(白・桃・黄) (一重・八重・丁字)



マーガレットの原種

1960年代～

育種開始 (旧有用植物園)

1990年代～

品種育成本格化 (南伊豆分場)

8

伊豆農業研究センターでは、産地からの要望を受け、1960年代から「マーガレット」の品種育成に取り組んでいる。

研究初期のマーガレットは、7月に苗を植えると翌年の春に開花する、花色や花型の違いが少ない植物。

望ましい特徴を持つ両親を交配し、得られた種子から優れたものを選ぶことで、①早く開花する早生品種や、②多様な花色・花型をもつ品種の育成を進めてきた。

## これまでのマーガレットの育種



切り花マーガレット

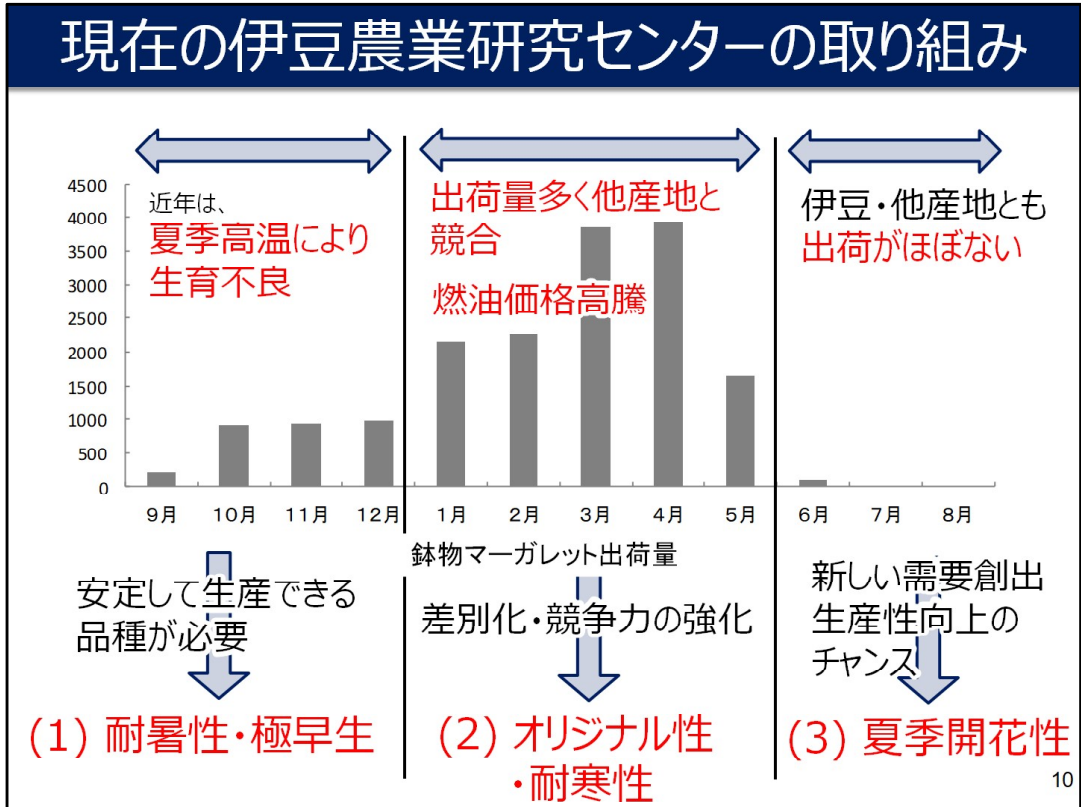
鉢物マーガレット

- 切り花12品種、鉢物31品種を育成、産地に導入
- 品種シェア18%（2023.2現在）
- 多様な花色、花型で9月からの出荷を可能に！

9

これまでに、切り花用12品種、鉢物用31品種を育成し、産地に導入。日本国内における品種のシェアは約18%。

開花が早い早生品種の育成により、他の鉢物産他ではマネのできない、7月に定植して9月からの出荷が可能。



現在は、特に鉢物用品種について、育種の要望が強くよせられている。鉢物用では、求められる特性が出荷時期によって異なるため、大きく3つの目標に向かって育種を進めている。

### (1) 9月から12月の年内出荷

近年の夏の暑さにより、生育不良や、開花の遅れが見られることから、9月から12月でも安定して出荷できる耐暑性・極早生品種の育成が求められている。

### (2) 1月～5月の出荷

出荷量が増加するため、他産地と差別化できるオリジナル性が求められている。

また、栽培中の暖房コストを抑えて栽培できる耐寒性が求められている。

### (3) 6月～8月

ほとんど出荷がない時期であり、この時期に開花する夏季開花性の品種が育成できれば、新しい需要の創出や、生産性の向上が期待できる。

近年の成果 (1) 9~12月出荷向け 耐暑性・極早生性品種

レディフレア

桃/赤色の複色  
丁字咲き



スイングレモネード

明黄色  
一重咲き



スノーフレア

純白色  
丁字咲き



3品種育成 (品種登録出願中) R4から販売開始

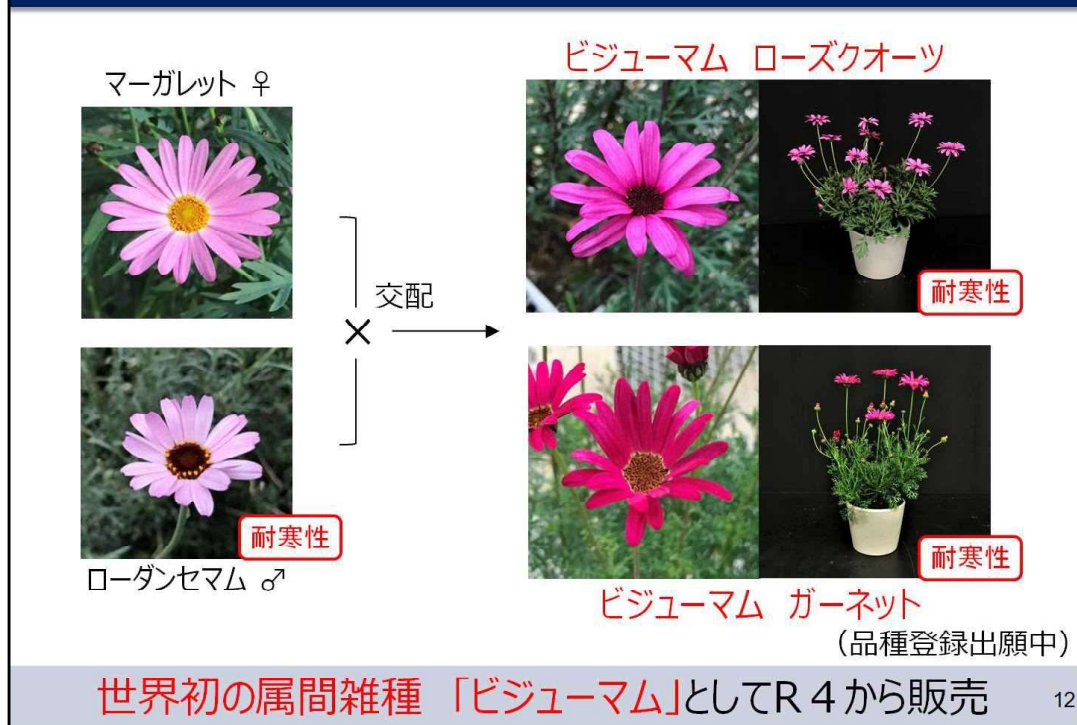
11

最近の成果を紹介します。

9月から12月の出荷を想定した耐暑性・極早生性を有した品種については、3品種を育成し、令和3年に品種登録出願を行った。

いずれも、写真右端の既存の品種より早く咲き、高温期でも安定して栽培できる品種で、令和4年から販売が開始されている。

近年の成果 (2) 1~5月出荷向け オリジナル性・耐寒性品種



1月から5月の出荷を想定したオリジナル性・耐寒性の強い品種については、  
耐寒性に優れるローダンセマムというキク科の植物と交配することで、赤紫色のビジューマム ローズクォーツと赤花のビジューマムガーネットの2品種を育成。

ビジューマムは、フランス語で宝石を意味する「ビジュー」とキク科植物の愛称である「マム」をあわせた造語で、鮮やかな花色から連想して命名。

ローダンセマムの耐寒性を受け継いでいるため、県内暖地では暖房せずに栽培できることに加え、静岡県だけの鉢花として差別化した販売が可能なことから、生産コストの低減や高価での販売が期待されている。



### 近年の成果 (3) 6~8月出荷向け 夏季開花性品種

マーガレット ♀

ローマンカモミール ♂

夏に開花

夏に開花

交配

7月6日撮影

河津バガテル公園 (9月7日、6株)

**伊豆49号**

**世界初の属間雑種として品種登録出願準備中**

13

6月から8月出荷を想定した夏季開花性品種については

ローマンカモミールを交配することで、夏に開花する性質を持つ「伊豆49号」を育成。

「伊豆49号」は、夏に開花することに加え、地面を覆うように生育するなど、これまでのマーガレットにはない特性を有している。

現在、品種登録出願を検討しており、産地への導入による出荷期間の延長が期待されている。

## 成果の活用と今後の展開



岩地 Iwachi  
雲見 蛇石峠 Kumomi Jaishi Pass  
マージレットライン Marguerite Line  
136  
静岡県道路 公社HPより  
妻良



ビジューマム 耐寒性



伊豆49号 夏に開花

植栽・観光利用など  
新たな活用方法を検討

植栽など景観形成、観光利用も視野に  
品種育成を継続します！

14

南伊豆町伊浜地区を通る国道136号には、特産のマーガレットにあやかり「マーガレットライン」の名称がついているが、暑さや寒さに弱いマーガレットをマーガレットラインで見ることができない。

耐寒性や、夏に開花する性質を持つ品種ができるようになったことから、生産振興を目的とした利用だけでなく、植栽による景観形成などの観光利用も視野に研究をすすめたい。

## 行事予定表（令和5年3月分）

日	曜日	賀茂地域局	下田財務事務所	賀茂健康福祉センター	賀茂農林事務所	下田土木事務所
1	水			賀茂通信（第70号）発行		
2	木					
3	金					
4	土					
5	日	津波避難訓練 <small>（下田市・東伊豆町・南伊豆町・西伊豆町）</small>				
6	月					
7	火					
8	水					
9	木	防災講座（聖和保育園） 10:00～11:00 聖和保育園				
10	金	賀茂キャンパス活用プログラム 「静岡県立大学 社会人講座」 第25回講座 13:30～15:00 賀茂キャンパス				
11	土	津波避難訓練 河津町				
12	日	津波避難訓練 松崎町				
13	月					
14	火					下田港物揚場完成式典 （下田市外ヶ岡 10:30～）
15	水					
16	木					
17	金					
18	土					
19	日					
20	月					
21	火					
22	水					
23	木					宅地造成工事規制区域監視員 委嘱式 （2階第3会議室 10:00～）
24	金	定例記者懇談会 9:30～ 賀茂キャンパス				
25	土					
26	日					
27	月					
28	火					
29	水					
30	木					
31	金					

## 行事予定表（令和5年3月分）

日	曜日	農林技術研究所 伊豆農業研究センター	水産・海洋技術研究所 伊豆分場	賀茂広域 消費生活センター	賀茂地域 教育振興センター	伊豆観光局
1	水					
2	木					
3	金					
4	土					
5	日					
6	月					
7	火					
8	水					
9	木					
10	金					
11	土					
12	日					
13	月			8:45～9:35 松崎高校出前講座		
14	火					
15	水					
16	木					
17	金					
18	土					
19	日					
20	月			13:30～15:00 特別法律相談		
21	火					
22	水					
23	木					
24	金					
25	土					
26	日					
27	月					
28	火					
29	水					
30	木					
31	金					

令和5年2月24日

定例記者懇談会資料

賀茂キャンパス活用プログラム「静岡県立大学 社会人講座」第25回講座

(賀茂地域局)

(要旨)

「静岡大学、静岡県立大学、静岡文化芸術大学と賀茂地域1市5町の相互連携に関する協定」に基づき、賀茂キャンパスにおいて、静岡県立大学による「観光人材育成のための社会人講座」の第25回講座を令和5年3月10日(金)に実施する。

※参加費は無料、毎月1回開講予定(単発の参加可)

(概要)

日時	第25回 令和5年3月10日(金) 13:30~15:00 ※毎月1回継続実施
会場	静岡県下田総合庁舎別館2階 賀茂キャンパス ※別館1階玄関からお入りください。 ※駐車場台数に限りがあるため、公共交通機関の利用・車の乗り合わせに協力願います。
内容	講師：静岡県立大学大学院ツーリズム研究センター カウクルアムアン アムナー 准教授 『静岡県におけるタイ人観光客の誘客』
対象	県民(定員48人)
参加費	無料
申込	 QRコードからの申込、もしくは、 静岡県立大学ツーリズム研究センターのメール：trc@u-shizuoka-ken.ac.jp、 又はFAX：054-264-5476に氏名、所属、電話番号を記入の上お申込みください。 ※定員に達した場合は、参加をお断りすることがあります。
問合せ先	賀茂地域局地域課 電話：0558-24-2204 主催：静岡県立大学大学院経営情報イノベーション研究科附属ツーリズム研究センター 共催：静岡県賀茂地域局

※新型コロナウイルス感染症対策(3密の防止、出席者のマスク着用、検温、手指消毒等)に十分留意した上で実施します。

※当日受付にて検温を実施しますが、37.5度以上の発熱があった場合は出席をお控え願います。

※感染拡大の状況によっては、開催を延期又は中止とする場合があります。

担当：賀茂地域局地域課

連絡先：0558-24-2204

# 賀茂キャンパス 観光人材育成のための 社会人講座

主催：静岡県立大学ツーリズム研究センター  
協賛：静岡県賀茂キャンパス活用推進委員会

2022年度 第25回(毎月1回開講します)

3月10日(金) 13:30~15:00

静岡県下田総合庁舎内賀茂キャンパス(下田市中531-1)

## 静岡県におけるタイ人観光客の誘客

### 講師：カウクルアムアン アムナー

静岡県立大学大学院ツーリズム研究センター准教授  
タイ国出身 首都大学東京博士課程観光科学域修了。  
和歌山大学を経て、2019年より静岡県立大学経営情報  
学部准教授  
研究テーマは「日本とタイに繋がる茶観光の展開」



タイは、日本の重要なインバウンド観光市場シェアの1つです。コロナ前に日本を訪れたタイ人は年間約130万人で、東南アジア諸国からの訪問者の中で最も多かったです。日本がコロナ禍の渡航の規制を緩和したため、タイの観光客の需要は大幅に増加すると予想されます。ただし、旅行のスタイルや目的地は変わる可能性があります。当講義では、観光需要に影響を与える要因を分析することにより、コロナ後に静岡県を訪問するタイ人を誘致するための観光商品のマーケティングに関する視点を解説します。

働きながら学べる最新の観光情報。無料で参加できます。

メール、FAXもしくはQRコード  
からお申込みください。

静岡県立大学大学院経営情報イノベーション研究科付属  
ツーリズム研究センター

Mail: [trc@u-shizuoka-ken.ac.jp](mailto:trc@u-shizuoka-ken.ac.jp)  
FAX : 054-264-5476



## 防災講座の開催

(賀茂地域局 危機管理課)

### (目的)

賀茂地域局危機管理課では、防災における「自助・共助・公助」の基本を踏まえた地域防災力強化のため、自主防災組織、教育機関、ボランティア組織等、地域の防災を担う組織と連携して、防災講座や連絡会議等の開催、訓練・研修等を実施している。

### (概要)

実施日時	実施場所	実施対象	内容等	備考
3月9日(木) 10:00~11:00	聖和保育園(松崎町)	3~5歳児	地震体験 防災ダック	

(計 1回)

・新型コロナウイルス感染症の拡大状況により、中止又は延期の可能性があります。

### (お願い)

学校での防災講座を取材する際には、各学校まで取材を行う旨をご連絡くださいますようお願いいたします。

講座の内容については、変更になる場合があります。

講座の内容に関するお問合せは下記担当までお願いいたします。

担当：危機管理課 森（連絡先：0558-24-2004）

## 令和4年度 津波避難訓練

統一スローガン 地震だ、津波だ、すぐ避難！ ～少しでも早く、少しでも高く～

(賀茂地域局)

## 1 概要

東日本大震災の教訓及び第4次地震被害想定等を踏まえ、県内の沿岸地域において、3月5日を統一実施日として津波避難訓練を実施し、津波避難の習熟を図るとともに、成果や課題を整理し、今後の取組に生かしていく。

## 2 重点項目

- (1) 「地震だ、津波だ、すぐ避難！」(地震発生を合図にした即時避難)の徹底・実践
- (2) 緊急避難場所・避難路の確認
- (3) 津波避難標識の確認
- (4) 避難行動要支援者への支援体制の検証

## 3 訓練日程

訓練会場等の詳細については、各市町の防災担当までお問い合わせください。

区分 市町	日 時	市町職員以外の 参加者	参加人数(人) (H30実績)
下田市	3月5日(日) 9:00~12:00	住民、消防団	3,794
東伊豆町	3月5日(日) 9:00~12:00	住民、消防団	732
河津町	3月11日(土) 10:00~11:00	住民	714
南伊豆町	3月5日(日) 10:00~12:00	住民	1,030
松崎町	3月12日(日) 10:00~12:00	住民、消防団	1,272
西伊豆町	3月5日(日) 午前中に実施	住民、消防団	2,296
計			9,838

※全市町が参加したH30年度の実績を参考として掲載します。

## 《参考》津波対策推進旬間

## 1 趣旨

津波に対する正しい知識の普及を図るとともに、指定緊急避難場所及び津波避難施設や避難路などの点検等を通じて、津波避難における課題を再確認する。

## 2 期間

令和5年3月3日(金)～3月12日(日)

担当：危機管理課

連絡先：0558-24-2004



令和5年2月24日

定例記者懇談会資料

## 賀茂健康福祉センター広報誌「賀茂通信(第70号)」の発行について

(賀茂健康福祉センター)

### (目的)

賀茂健康福祉センターでは、広報誌「賀茂通信(かもめーる)」を年4回定期発行している(6月、9月、12月、3月の1日付け。発行部数3,400部)。

センター業務の広報・啓発を行い、業務についての理解を得るとともに、住民にとって身近で信頼されるセンターとなることを目的とする。市町の協力を得て、管内の全戸に回覧しており、当センターのホームページにも掲載している。

最新号の第70号を3月1日に発行する。

### (概要)

第70号の内容は以下のとおりです。

- 愛の援聴週間(福祉課)/健康福祉関係月間・記念日
- 受動喫煙(健康増進課)
- 薬物乱用防止(衛生薬務課)
- 肝炎(地域医療課)/医療健康部長挨拶

担当: 福祉課福祉こども班

連絡先: 0558-24-2055

## 定例記者懇談会資料

## 松崎町雲見の災害復旧治山工事に着手しました

(賀茂農林事務所)

## (要旨)

令和4年8月13日～14日の台風8号に伴う豪雨により、賀茂郡松崎町雲見の山腹斜面が崩壊し、崩壊土砂が下流に流出して空き家1棟が全壊した林地災害の治山工事に、賀茂農林事務所が着手しました。

## (実施概要)

## 1 経緯

令和4年 8月13日夜	台風8号に伴う最大時間雨量68mmの豪雨を観測(県サイポス大峠)し、山腹崩壊が発生する。
8月14日	県が現地調査を実施。災害発生を国に報告する。
8月18日	県は、一般社団法人斜面防災対策技術協会静岡支部に対し、災害時協定に基づく測量設計業務委託を要請し、測量に着手する。
8月～12月	測量及び概略設計業務委託を実施し、9月には災害関連緊急治山事業計画書を作成、提出して、国から事業費決定通知を受ける。12月までに詳細設計業務委託が完了する。
12月～ 令和5年1月	県が工事設計、積算を実施し、工事入札により受注者が決定する。

## 2 工事内容

工事名	令和4年度治山(緊急)竹カラシ工事
工事箇所	賀茂郡松崎町雲見
工事期間	令和5年1月25日～10月31日
工種概要	山腹工0.32ha(土留工、水路工ほか)
保全対象	人家3戸、町道、水道施設ほか
工事受注者	西伊豆貨物自動車株式会社

## (参考)

## 【災害関連緊急治山事業】

災害により新たに発生し、又は拡大した荒廃山地につき、当該災害発生年度に緊急に行う復旧整備に係る保安施設事業

担当：治山課治山班  
連絡先：0558-24-2084

# 令和4年度治山(緊急)竹カラシ工事 位置図

